

山田町議会議員視察研修レポート

7月23日（月）～25日（水） 北海道北斗市・福島町



音響設備が整った大ホールの様子

北海道北斗市 総合文化施設

総務教育常任委員会

所感

北斗市総合文化センター「かなでる」は、生涯学習・芸術文化振興の拠点施設として市民が広範に利用できる4つの機能（ホール機能、公民館機能、図書館機能、資料展示機能）を備えた複合文化施設です。

本町の公共施設は、建築後30年以上経過した建物が半数以上を占めており、今後多くの施設が大規模改修や建て替えの時期を迎える。人口減少や高齢化の影響により、財政状況は一層厳しくなることが予想されることから、限られた財源の中で効率的な公共施設の維持・管理、運営を行うため、施設の複合化や集約の縮減を図る必要がある。必要なサービスを保ちつつ大規模改修や建て替えに係る費用を平準化させるためにも、複合化を含めた施設の再編整備計画に取り組む必要があると感じた。



陸上養殖施設で稚貝の養殖方法を見学しました

北海道福島町 アワビの陸上養殖

産業建設民生常任委員会

所感

福島町では28年度から産業課に水産アドバイザーを配置し、アワビ陸上養殖のための事業を実施しています。天然蝦夷アワビ資源が減少する中、持続的に供給が可能な海水と、企業的生産が可能なアワビ種苗を資源とするアワビの養殖は、地域の持続的生産拡大を図る産業として期待されています。

本町においても天然蝦夷アワビの資源減少の中で、陸上養殖は考えなければならぬ問題の1つである。事業を導入する場合、雇用創出や将来性等、水産業の継続・発展を目的とした活用も可能であり、施設整備費等は問題ないと考える。しかし、成貝となつた養殖アワビの販路の恒常的な確保、天然アワビとの差別化の工夫、価格の調整、運営主体など検討すべき点がさまざまあり慎重に進めべきである。

北海道福島町 議会改革

議会改革検討特別委員会

所感

議会の主役は議員、住民が参画（協働）する議会、変化を恐れない議会の3つの視点で「気が付いたことから」、「できることから」を合言葉に「開かれた議会」づくりに取り組んでいるとのことでした。

議会改革を積極的に行い、町民の議会に対する考え方、見方が良いほうに変わってきている経過がわかった。本町でも実施を検討すべき点も多くあった。取り入れるべき点は今後検討しながら、本町議会に合った議会改革を進めるところから着実に進めていくべきと考えた。